

第2日 大雪山系 旭岳

【日 時】2017年7月8日（土曜日）

【天 候】晴れ

<Aコース>

【参加者】CL 中野裕司、SL 丸岡 隆、SL 秋永義久、橋本和子、中山 昇
大石良子、島野敏子、友成君子、小林美和子、蓮池照子、高山正代
前田恵子、鈴木元子、宮崎久美子、斉藤富士子、山田久美子、斉藤和枝

計17名

【コースタイム】

ホテル花神楽 7:15 - 旭岳ロープウェイ 7:50/8:00 姿見駅 8:10/8:25
..... 姿見池 8:45 6合目 9:20 7合目 9:47 8合目 10:20
9合目 10:50 旭岳山頂 11:10/11:40 姿見の池 14:10 夫婦池
15:00 姿見駅 15:20/15:45 旭岳駅 15:55/16:00 - ホテル花神楽 16:35

【感想】

今日は北海道二日目。いよいよ北海道登山が始まる。天気は申し分ないくらいの晴れ、少々暑そう。コテージをバスで出て約35分でロープウェイ乗場に着いた。

8時のロープウェイに乗り10分程で姿見駅に到着。身支度、ストレッチをして、雪の残った登山道を出発。登山道の周りはエゾコザクラ、チングルマ、エガノツガザクラ等が咲いて目を楽しませてくれる。程なく避難小屋のある姿見池に着いた。正面奥に旭岳の勇姿。噴煙の上がる地獄谷を左に見ながら岩のごろごろした登山道に行く。硫黄の臭いが鼻をつく。ジグザグに高度を稼ぎながら登るとやがて左手に大きな金庫岩、右手に偽金庫岩が現れた。ここからあと少し急登を登りければ頂上だ。

頂上は広く360度の展望。振り返れば今登ってきたルート、東や北に目を転じればBコースの友が歩いたであろう山々や、はるか遠くの山がきれいに見える。友は今何処辺りを歩いているのだろうと思いを馳せた。

頂上で食事をし、下山にかかる。下りは疲れもあってか大勢の人が滑って尻餅をついた。四国の山には無い登山道で、非常に足にこたえる。何度か休憩をとりながら、姿見の池まで降りてきた。避難小屋を見学し、噴火している近くまで行って引き返し、雪渓を通り夫婦池へと下った。池は半分雪があり綺麗なコントラストを描いている。この下山道も花が一杯咲いていて、疲れが飛んだ。

やがて出発した姿見駅に到着。Bコースの人達はまだなのでここでゆっくり待つことにする。やがて大きな歓声と共にBのメンバー到着。すばらしい花畑があったそうで皆感激していた。ロープウェイで旭岳駅に降りてバスで宿舎のコテージに帰った。夕食はまたバスに乗り市街地まで行き、帰ってからミーティングをし、就寝となった。



① 姿見駅



② 姿見ノ池からの旭岳



③ 旭岳山頂を目指して



④ 旭岳山頂

⑤ 旭岳山頂からの眺望



黒岳方面



トムラウシ山方面

⑥ 姿見駅を目指して急坂を下る



⑦ 夫婦池からの旭岳

